

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成24年11月8日 (2012.11.8)

【公表番号】特表2012-504359(P2012-504359A)

【公表日】平成24年2月16日 (2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2011-528356(P2011-528356)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/40 (2006.01)

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

H 0 3 F 1/34 (2006.01)

H 0 3 F 3/24 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/40

H 0 4 B 1/04 R

H 0 3 F 1/34

H 0 3 F 3/24

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月18日 (2012.9.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

ベースバンド信号を R F 信号に変換する少なくとも 1 つの変調器 (316, 320) を備え、ベースバンド周波数で動作するベースバンド信号処理ステージ (301) と、前記 R F 信号を増幅する少なくとも 1 つの増幅器 (330) を備え、R F で動作する R F 信号処理ステージ (302) と、を備える送信装置 (300) における雑音を抑圧する方法 (900) であって、

前記方法は、前記少なくとも 1 つの増幅器 (330) の回りに接続されたフィードバックループ (333, 810, 336, 820) において実行され、

前記方法は、

ベースバンド信号成分と雑音成分とを含む増幅された R F 信号を取得するために、前記少なくとも 1 つの増幅器 (330) の下流で前記 R F 信号処理ステージ (302) をタップするステップ (905) と、

前記タップされた R F 信号をベースバンド周波数にダウンコンバートするステップ (910) と、

前記雑音成分を実質的に含む信号を取得するために、前記ダウンコンバートされた信号から前記ベースバンド信号成分を除去するステップ (920) と、

前記雑音成分を実質的に含む前記信号を、前記少なくとも 1 つの変調器 (316, 320) の上流で前記ベースバンド信号処理ステージ (301) にフィードバックすることにより、前記雑音成分を抑圧するステップ (930) とを含むことを特徴とする方法。